

## 質問回答

2020年2月6日

「インドネシア国高等教育・職業教育にかかる情報収集・確認調査(QCBS)」

(公示日:2020年1月22日/公示番号:19a00937)について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	p.22 2. 業務実施上の条件 (2) 業務量目途と業務従事者構成案	評価対象業務従事者の M/M に目安がありましたらご教示ください。	QCBS 方式ですので、本業務を遂行するために最も効果・効率的な M/M の貼り付けについて検討いただき、プロポーザルにてご提案願います。
2	p.23 5. 見積書作成にかかる留意事項	一般業務費の費目のうち、定額計上すべきもの(大学・ポリテク施設視察にかかる国内航空賃、インドネシア政府とのコンサルティブ・ワークショップ開催費(ジャカルタ 30 名、バンドン 60 名)など)がありましたらご指示ください。	定額計上するものはございません。QCBS 方式ですので、最も効果・効率的な旅程をプロポーザルにてご提案願います。なお、ワークショップについては、ジャカルタでは実施機関にて開催のため会場費用はかかりませんが(ただし軽食代は必要)、バンドンについてはホテル開催(軽食含む)を想定しておりますので、費用の計上が必要です。
3	p.12 脚注 3	「…職業訓練校(SMK)は調査対象外とする。」と記載があります。職業訓練校は一般に LPK (Lembaga Pelatihan Kerja) と略称されるところ、当該記述は正しくは「…職業訓練校(LP K)は調査対象外とする。」であると理解してよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。脚注は「本調査では、「高等教育における職業教育機関(ポリテクニク)」のみを対象とし、その他の職業訓練校(SMK 等)は調査対象外とする。以降の「職業教育」は「高等教育における職業教育」を意味するものとする。」に修正させていただきます。

以上、1月30日掲載済み。

4	P13 脚注9	「ジャワ島以外の Politeknik Negeri Ujung Pandang も推奨するが必須ではない」点について、同校を推奨する理由は何でしょうか？	旧科学技術高等教育省より Politeknik Negeri Ujung Pandang の状況の確認依頼があったことが背景にあります。但し、新政権に代わり同省の体制も代わって来ておりますので、推奨程度に留めております。
5	P18 (5)第2次現地調査 3)インドネシア政府とのコンサルテーション(ワークショップ)の実施	ジャカルタとバンドンの二か所で実施が想定されている理由は何でしょうか？またジャカルタが30名、バンドンが60名と想定されている理由もお教えてください。	ジャカルタでは教育文化省と科学・研究省関係者を対象とし、バンドンにおいてはポリテク評議会(インドネシア全土の公立ポリテク校を対象にバンドンで行われる勉強会)関係者を対象としているため2か所で実施致します。ジャカルタは教育省の関係部署から数名ずつ来ることを想定し、30名程度。バンドンは、バンドンポリテク評議会に参加している公立ポリテク数(51校)を念頭におき、60名ほどに想定しております。
6	P23 5. 見積書作成にかかる留意事項	ジャカルタ及びバンドンでのワークショップの費用に関して、1/31付の質問回答でジャカルタ開催時の際の軽食費及びバンドン開催時の会場代(軽食を含む)は見積もるべきと理解しましたが、それ以外の費用(例:参加者の旅費)は見積不要との理解でよいでしょうか。	ご理解の通りです。
7	P12 5. 実施方針及び留意事項」の(1)の(1-4)および P 17 6. 調査内容」の5)	「5. 実施方針及び留意事項」の(1)の(1-4)では、職業教育については、課題・改善ニーズの確認に重点を置く。JICA 協力としてのニーズと方向性にかかる検証、提言を行うとありますが、「6.	職業教育については個別案件の検討・提案は想定しておりません。「上記.6.(1)1)~4)の結果を踏まえ、大学・職業教育における JICA の今後の協力の方向性を検討し、うち大学支援においては

		調査内容」の5)では具体的な案件提案について検討する、とあります、職業教育については、必要な政策の改善・対応策の提案に加え、個別案件の検討・提案も必要となりますか？	JICA の今後の具体的な案件提案についても検討する。」に修正させていただきます。
8	P14 6. 調査内容(1)1)①高等教育に関するインドネシア政府及び教育・文化省／科学・研究省の方針と体制の整理 ・旧科学研究高等教育省作成の人材需要予測のレビュー	「人材需要予測」は何の人材のことでしょうか？	旧科学研究高等教育省がインドネシアで必要とされる人材需要予測(官民の区別はありません)にかかるレポートを10の分野で作成しています。現時点では Infrastructure、Education、Health の3つが完成しています。実施機関と協議の上、3つのうちのどのセクターのレポートをレビューするかを決定していく予定です。

以上